



## SG5 副議長 (再任)

日本電信電話株式会社

たかや かずひろ  
高谷 和宏

〈プロフィール〉

**専門領域**：通信システムの電磁環境両立性、温室効果ガス削減技術の研究

- 1995年 岡山大学大学院工学部電気電子工学専攻 修了
- 1995年 日本電信電話株式会社 入社
- 2006年 ITU-T SG5に参画、EMCや雷対策の標準化活動に携わる
- 2008年 電磁波セキュリティの課題新設と勧告策定に貢献
- 2009年 気候変動、ホームネットワークの標準化活動に参画
- 2016年 ITU-T SG5 副議長に就任、EMF、EMC、雷対策等の標準化を牽引
- 2022年 SG5副議長に再任

—— 先のWTSA-20での選出そしてご就任おめでとうございます。今回、副議長に任命されたことについて率直なお気持ちをお聞かせください。

**高谷** 2期目ということもあり、新任のときは気持ちも異なりますが、この2年間、Web会議ばかりでしたので、現地へ赴き、他国の仲間たちと対面で議論したいと思いました。

—— ご担当事項（ご専門領域）とご経歴、ITU (SG)との係わり（年数など）、その他の標準化機関での活動などを教えてください。

**高谷** ITU-Tでの活動領域は、SG5がほとんどであり、2006年より、通信インフラの電磁環境両立性（EMC）問題や雷対策等に関する標準化活動に参加したことが始まりです。2012年からは、SG5に気候変動に係る課題が増えたため、環境的側面の標準化活動にも携わっています。

—— 次研究会期におけるご担当の研究委員会の最重要テーマ・課題はどのような事とお考えでしょうか。

**高谷** カーボンニュートラルに向けた取組みは、情報通信産業のみならず、すべての産業で重要な課題となっています。特に、通信トラフィックの爆発的な増加による通信業界のエネルギー消費対策はITUにおいても重要な課題です。

—— 副議長としての抱負をお聞かせください。どのようなところに力を置いて活動されるご予定でしょうか。

**高谷** 副議長として、2期目ということもあり、標準化活動にやり残したことがないように、あと2年頑張りたいと思っています。

—— 副議長としての難しさや障壁はどのようなものが想定されるでしょうか。また、そうしたことへの対処方法はどうお考えでしょうか。

**高谷** 基本的には現地開催、現地での議論が優先される中、Withコロナの制約の中でどのような参加方法が最適なのか、常に問われる課題と考えています。海外、国内の対応状況を見ながら適切な判断をしていきたいと思っています。

—— ポストコロナのSGの活動はどうなっていくと思われますか。また、どのようにしたいとお考えでしょうか。

**高谷** ITUの基本はコンセンサスであり、コロナ前と同じようにするには、全員が現地で非公式な議論も含め、自由にできたほうがやりやすいと感じます。しかしながら、今会期中は現地参加の考え方に格差が生じるのは仕方なく、過渡期において、何が最適かはその時その時で判断していくしかないのかと思っています。

—— 我が国、各加盟国の政府関係やICT産業界からの理解や協力についての期待をお聞かせください。

**高谷** 気候変動、環境の問題は、人類にとって最も重要な課題であり、情報通信産業の発展に不可欠の課題ととらえています。情報通信産業ができることをオールジャパンで考えていけるように、より多くの方がSG5の活動にご参加いただけることを期待しています。

—— 最後に、個人の信条や、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

**高谷** 以前は、海外旅行が趣味でしたが、コロナ禍において冷めてしまいました。ゴルフとソフトボールくらいしか、休日の楽しみがなくなりましたので、ポストコロナにおける自分自身の楽しみ方も少しずつ考えていきたいと思っています。

—— 読者へのメッセージをお願いいたします。

**高谷** 環境問題は、大きく分けて、気候変動、生物多様性に係る問題と、廃棄物や物質循環に係る問題の2つがあると考えています。気候変動対策にはなっても、処理が困難な廃棄物がたくさん出るような対策が良い手法として評価されないように、正しく判断できるITU-T勧告の策定に携わってきたいと思っています。

### 【読者のための豆知識】

SG5の活動内容：電磁界（EMF）、環境、気候活動、持続可能なデジタル化及び循環経済